

校歌

一 国土くにつちのなからを占めて

まがねまがふく吉備の野平のだひら

旭川あさかきよらに流れ

操山まさやけきところ

いづくいしき学がび舎や建てり

のぼる日ひの名なに負おふ朝日

朝日

二 はて知らぬ空そらのまほらに

高たかゆくやあくがれがころ

としとしきのながきながながれに

かがやけるかがみ名なぞあひつぐ

ほほこらしきわが学がび舎やよ

のぼる日ひの名なに負おふ朝日

朝日

三 こぞりたつあしもとどろに

いざいわれらいざいのもろもろろ

ささやかにかもはずかむこころに

もの学がびちちからありありなむ

かかぐはしきはとはの学がび舎

のぼる日ひの名なに負おふ朝日

朝日

服部忠志 作詞
中山善弘 作曲

● 教育方針

- (1) 長い伝統によって培われてきた“**自主自律を重んじ、自由を尊重する**”態度，すなわち，なすべきことを自ら考え，自らを厳しく律し，それに基づく自由を尊重する態度の涵養を，本校教育の基本とする。
- (2) 教養が豊かで品性の立派な人物の養成を目標とし，それがために“**自重互敬**”の精神と，制帽に象徴される公明正大の気宇とを養い，特に礼儀を重んじる生活の実践に努める。
- (3) 勉学においては，集中・継続・協力の習慣を養い，生活態度は“**のびのびときまりよく**”を目標とする。教師は，生徒がおのおの持ち味を發揮し，真の生き甲斐を感じて，正しく，仲よく，かつ勇敢に人生を生きぬくことを念願し，それに必要な鍛練と適応力の育成とを信条とする。

● 沿革の概要

寛文6年(1666)池田光政が岡山城西ノ丸(現岡山市民会館のあたり)に仮学館をつくり，寛文9年(1669)これを西中山下(現岡山中央中学校のあたり，現在は蕃山町)に移し，「学校」(国学)と称した。廃藩置県で県庁の管理下におかれ，明治5年(1872)年頭には教育内容を改めて「普通学校」と改称し，士族以外の入学も認めた。学制制定後は藩校等の旧来の学校は全面廃止の措置がとられたにもかかわらず，「第一番小学」の名称で一時は許可されたが，明治6年11月には廃校となり，教育目的と施設・校具は「私塾遺芳館」に継承された。翌明治7年(1874)6月，岡山城西ノ丸に教員養成の目的で「温知学校」が開設され，同年8月には教員志望でない生徒も，その「予科」に入学が認められ，遺芳館の幼年生が数多く移籍した。この年を創立の年としている。明治8年(1875)11月，温知学校とその予科は藩校跡に移った。

- 明治 9. 6 岡山県師範学校変則中学科と改称
12. 2 **岡山県中学校**として独立，この年地方税支弁の学校(県立学校)となる。9月，第一回卒業生を出す
18. 3 師範学校と再合併，岡山学校と称する
19. 8 師範学校と分離(中学校令)，岡山県尋常中学校と称する
29. 11 内山下岡山城本丸跡に新校舎を建てて移る。のちに11月21日を本校記念日(創立記念日)とする
32. 4 岡山県岡山中学校と改称，本科のほかに補習科を併置
- 大正 10. 3 **岡山県第一岡山中学校**と改称
- 昭和 11. 4 **岡山県第二岡山高等女学校**を岡山県女子師範学校内に創設
20. 6 戦災により両校ともに全焼
21. 11・12 両校校舎新築
23. 4 学制改革により，両校，それぞれ**岡山県立岡山第一高等学校**，**岡山県立岡山第二女子高等学校**となり，併設中学校を付置する
24. 8 高校再編成により，上記2校は統合され，**岡山県立岡山朝日高等学校**(普通課程，家庭課程)となる。それぞれを内山下校舎，中山下校舎と称したが，この年，実質的な統合は行われなかった
25. 9 国富の旧六高跡(3年生)，内山下(2年生)，中山下(1年生)の3校舎で男女共学実施
26. 4 中山下校舎廃止。国富(3年生)，内山下(2・1年生)の2校舎となる
27. 9 国富(3・2年生)，内山下(1年生)となる
28. 4 家庭課程募集停止(30.3廃止)
28. 8 内山下校舎廃止。全校生徒国富に集まり，1校舎となる。
29. 11 創立80周年記念式及び講堂落成式挙行
39. 11 創立90周年記念式挙行，同窓会館完成
45. 3 校舎教室棟(講堂北側)完成
46. 3 特別教室棟(講堂東側)完成
47. 3 管理棟(講堂北側)完成
48. 3 体育館完成。正門付近造園整備完了
49. 11 **創立100周年記念式挙行**
創立百周年記念館完成
57. 3 研修ホール(剣道場)完成
59. 10 創立百十年記念同窓資料館完成
59. 11 創立110周年記念式挙行
60. 11 校歌歌碑完成
61. 3 芸術教室棟完成
- 平成 6. 3 中庭整備完了
6. 11 創立120周年記念式挙行
11. 4 総合選抜制度廃止，中学区制に変更
16. 11 創立130周年記念式挙行
17. 9 新校舎北棟(管理・教室棟)完成
18. 8 新校舎南棟(特別教室棟)，図書館棟完成
21. 2 校舎教室棟・管理棟(講堂北側)・木造合併教室棟解体
23. 1 正門，校地を巡る石積，東書庫・西書庫，柔道場が「登録有形文化財(建造物)」に登録される
26. 11 創立140周年記念式挙行



樹齢百余年を誇る校門の大楠木